**かつらぎ町自分ごと化会議**

**実績報告書**

**～都市計画マスタープラン策定に向けての住民の声～**

**令和7年３月**

目次

[**Ⅰ　「かつらぎ町自分ごと化会議」の概要 - 2 -**](#_Toc192000826)

[**Ⅱ　グループ議論における論点及び主な意見 - 3 -**](#_Toc192000827)

[**Ⅲ　自分ごと化会議に参加して、変化したこと - 16 -**](#_Toc192000828)

# **Ⅰ　「かつらぎ町自分ごと化会議」の概要**

◯テーマ

第5次長期総合計画で定めた「土地利用の方針」をもとにした6テーマ

1. 公共交通　②公園　　③防災　④住環境　⑤農業振興　⑥観光振興

○かつらぎ町自分ごと化会議委員

|  |  |
| --- | --- |
| 無作為に抽出し案内を送付した人数 | 2,000人 |
| 無作為抽出により応募した委員（応募率） | ３１人（1.５5％） |
| 参加した委員の数（合計） | ２７人 |

○政策シンクタンク　一般社団法人　構想日本

Ａ班

・小瀬村　寿美子（コーディネーター）

・浮城　裕史（ファシリテーター）

・坂本　健太（ファシリテーター）

Ｂ班

・大澄　憲雄（コーディネーター）

・松本　知幸（ファシリテーター）

・高橋　里穂子（ファシリテーター）

※コーディネーター：議論の全体統括、ファシリテーター：会議の進行役

◯各回の概要

・第１回会議：2025年1月25日（土）

・会議趣旨説明（かつらぎ町）

・自分ごと化会議の概要説明（構想日本）

・グループ議論

A班：公共交通　　　B班：公園

　　　・自由討論会

・第２回会議：2025年2月8日（土）

・グループ議論①

A班：防災　　　　　　B班：農業振興

・グループ議論②

A班：住環境　　　 B班：観光振興

# **Ⅱ　グループ議論における論点及び主な意見**

**①公共交通**

|  |
| --- |
| ≪住民が望むありたい姿≫ |
| * ドアtoドアで行きたい場所にいつでも行ける（区域運行の充実） * バス停が近くにあったり、路線が拡大されたりなど利便性の高い交通 * 地域コミュニティを活かした助け合いでの移動 |

|  |
| --- |
| 住民から上がった課題 |
| 認知度の低さ  コミュニティバスやデマンド型乗り合いタクシーの存在を知らない、あるいはどのように利用するのかわからない住民が一定数いる。広報活動の強化や利用方法の分かりやすい説明などが求められている。  利便性・アクセスの悪さ  予約システムの改善、アクセス向上、停留所の位置の見直しなど、利用者の利便性を高めるための具体的な対策が必要。また、買い物難民の問題は、高齢化や人口減少が進む地域において深刻化しており、バスの停留所が自宅や目的地から遠く使いづらいため、交通の拠点があるとよい。  公共交通の維持の困難さ  公共交通の維持には、人員確保と予算確保が不可欠。担い手不足や財政難は、多くの地域で共通の課題であり、長期的な視点に立った持続可能な運営体制の構築が求められる。  地域コミュニティの活用  公共交通のあり方や使いやすさに関する意見は、住民のニーズを把握する上で重要な情報となる。まずは地域の実情を把握するため地域のコミュニティを活発化し、課題の共有や打開策の検討などが必要。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **課題を解決するために** | | |
| **住民の 役割** | **個人** | * 親、友人、隣人に教える * タクシーやコミュニティバスの使い方を知る * 公共交通を利用してみる * 近所の人と一緒に勉強会へ参加する * 近所のみんなで公共交通の利便性を話し合ってみる |
| **地域** | * 各地区で研修をし、使い方を深める * 町内会単位で話し合い、乗車体験会を実施する * コミュニティバスやデマンド型乗合タクシーについて地域の人に声を掛け合う * 少人数で乗り合わせる * かつらぎ町の公共交通をもっと理解して周辺の人に教える * 地域で話し合いの場を設ける * 地域の中でまとめ役がいるとよい |
| **行政の役割** | | * 研修会の設定 * 重要な情報がしっかり住民に届くよう情報発信 * 幅広い世代にアンケートを取り、住民が求めていること（停留所の位置、運行ルートなど）をリサーチし、利便性を向上させる * 予約システムを見直し、使いやすい予約方法を確立させる |
| **その他** | | * デマンドのルートを連絡しやすいようにする * 区域運行に変更していく * スクールバスの利活用 |

**高校生の通学や部活は親が送迎している。**

**保護者の負担が大きい。**

**〈住民からの主な意見〉**

**自宅からバス停まで遠く、バスを使う気になれない。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

**地域のコミュニティが大切。**

**まずは地域で話し合うことから始めるべき。**

**乗合型タクシーを知らなかった。**

**少人数でコミュニケーションが取れるのは良い。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

1. **公園**

|  |
| --- |
| ≪住民が望むありたい姿≫ |
| * 多世代にとって嬉しい「公園」＝子どもの遊び場と高齢者の憩いの場の両立＝一石二鳥 * 最新の遊具がそろった“大きな公園” * 小さな子どもも自分の足で歩いて行ける“身近な公園” * 災害拠点としての役割 |

|  |
| --- |
| 住民から上がった課題 |
| 施施設・遊具の不足や老朽化  遊具の不足や老朽化は、子どもたちの遊びの機会を奪い、公園の魅力を低下させる要因となる。また、統廃合により使用されなくなった幼稚園の遊具が放置されている問題や、管理体制への不安も、公園の利用を妨げることとなる。  安全性・衛生面の確保  犬の糞の放置や雑草が生い茂ったままの草むら、遊具の老朽化による安全性への懸念は、公園の利用者を減少させるだけでなく、地域住民の生活環境にも悪影響を与えている。  公園の役割の活用  公園は、子どもたちの遊び場としてだけでなく、地域住民の交流の場や災害時の避難場所としての役割も期待されている。公園の多機能化を進めることで、より多くの人々が公園を利用し、その価値を実感できるようになる。  アクセスの悪さ  公園へのアクセスが悪い、あるいは近くに公園がない地域では、公園が身近な場所ではなくなっている。特に、子どもや高齢者など、移動手段が限られる人々にとって、公園へのアクセスは重要な課題。  維持・管理が不十分  公園の維持管理は、公園の魅力を保ち、安全性を確保するために不可欠。しかし、人手不足や予算不足などにより、十分な維持管理が行われていない公園も少なくない。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題を解決するために | | |
| 住民の 役割 | 個人 | * 散歩に出て公園で遊んでいる子の見守りをする * 清掃など管理作業等の雑務を行う * 公園の利用頻度を増やし、どんな風に使用されているのか見ていく * 現状の公園の状態を把握する * 危険な遊具などを見つけた場合報告する * 誘い合って公園にいく |
| 地域 | * 掃除や草刈りなど地域で公園を管理する * 掃除などの回数を多くして、人がいる時間を長くする * 区役員で公園の看板を作成する * 高齢者が談話できるベンチを置く * 安全の確保のため、見守りにいき、人がいる時間を長くする * 公園を避難場所として使う * 安全な避難ルートを確保するため、地域で話し合いが必要 |
| 行政の役割 | | * それぞれの講演の特色の色分けを行う（小学生が自分たちで行ける公園、自転車で行ける範囲、親と一緒に行く公園、車で行く公園など） * 公園に隣接したところに公民館や児童館、高齢者サロン、育児サークルを作って常に人の目が届くように工夫する * 点検、老朽化で取り壊すだけではなく維持できるようにしてほしい * 児童にどんな公園ができたら良いか等アンケートを取る * 個人が報告しやすい仕組みづくり |
| その他 | | * 駐車場、トイレは整備してほしい * 大きい地震の時の避難場所として活用 |

**〈住民からの主な意見〉**

**自宅からバス停まで遠く、バスを使う気になれない。**

**高校生の通学や部活は親が送迎している。**

**保護者の負担が大きい。**

**防災拠点としても使える。**

**高齢者が憩いの場として集まり、子どもたちの見守りをすれば一石二鳥。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

**遊具が古かったり、雰囲気が暗かったり、人気がなくて怖い。**

**子どもが遊ぶ公園があると、外から来た人も住みたいと思ってもらえる。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

**③防災**

|  |
| --- |
| ≪住民が望むありたい姿≫ |
| * 自主防災組織がしっかり機能し地域全体で助け合う（共助） * 町民ひとりひとりが防災意識を高くもつ（自助） * ハード・ソフト両面で災害に強い（公助） |

|  |
| --- |
| 住民から上がった課題 |
| 防災意識の向上  災害を自分ごととして捉えられない、自助共助の意識が低いといった課題は、災害時の行動に大きく影響する。町民ひとりひとりの防災意識を高めるための啓発活動や、災害体験を共有する機会の提供が必要。  自主防災組織の認知度不足  自主防災組織の認知度や活動内容の理解不足は、地域全体の防災力低下につながる。組織の活動を周知し、住民の参加を促す取り組みが必要。  避難手段の確保  集落の孤立やペット同伴避難など、具体的な避難計画に関する課題は、個々の状況に合わせた対策が必要。ハザードマップの活用や、多様な避難手段の確保が重要となる。  災害対策  浸水対策や災害想定の欠如は、被害の拡大を招く可能性がある。地域の特性を踏まえ、具体的な災害対策を検討する必要がある。  情報の周知の徹底  防災情報や訓練への参加率向上は、災害時の適切な行動を促すために不可欠です。情報提供の方法や訓練内容の工夫、参加しやすい環境づくりが求められる。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **課題を解決するために** | | |
| **住民の 役割** | **個人** | * 防災意識の向上のため、近所の方とコミュニケーションを取り、避難訓練などに誘い合う * 防災グッズや避難方法の備えを行う * 実際に災害が起こってからでは遅い。必ず来ると思い込む努力が必要（イメージトレーニング） * 自分の地域ではどのような避難訓練、防災訓練が行われているのかを知り、家族や友人にも共有する * 自分から情報を取りに行く * 自主防災組織について情報を知る * 人用と同様にペット用の避難グッズを準備しておく |
| **地域** | * 発災時に近所の声掛け、様子見をする * 自主防災による事前の住民情報の収集 * 発災時に支援できるよう地域の高齢者、子どもなどの実態を把握する * 防災の日を定めて地区として訓練する * 避難訓練、防災訓練があることを大々的に知らせる * 回覧板で周知徹底 * 地区の集まりで危険な箇所の把握を推進する * この地域に必要な訓練や備えは何か考える * ペットを飼っている人同士でコミュニティを作っておく |
| **行政の役割** | | * 防災士育成の助成、防災勉強会の実施 * 水路を増やす（定期的に蓋をしている水路の掃除) * 町民の意識向上のための情報発信 * 防災組織一覧を用意する * ハザードマップをHPだけではなく、公式LINEにも導入する * 防災センターの設置 |
| **その他** | | * 子どもにも分かりやすいハザードマップを作る |

**〈住民からの主な意見〉**

**自主防災組織の活動をあまり知らなかったので、参加してみたい。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

**防災訓練であったり、自助、共助の部分で意識を高めていきたい。**

1. **住環境**

|  |
| --- |
| ≪住民が望むありたい姿≫ |
| 〈上水道〉   * 安心して使い続けられる上水道（水質の安定や老朽管の更新） * 災害時にも安定供給できる仕組み |
| 〈駅前開発〉   * 自宅や学校、職場とは別に第三の居場所として快適で居心地の良い場所 * 個人商店や喫茶店などにぎわいのある場所 * 図書館や文化施設などがある滞留できる場所 |

|  |
| --- |
| 住民から上がった課題 |
| 〈上水道〉  施設の老朽化  老朽化した水道管の更新は、漏水や断水などのリスクを軽減するために不可欠である。しかし、更新費用は高額になることが予想され、住民への負担を考慮した計画的な実施が求められる。  適正な料金・分担金体系  水道の加入分担金は、地域ごとに差があり、住民の生活に直接影響を与えるため、適正な料金設定と負担の公平性が必要。移住者したい人にとっても負担が大きいため、過疎化対策の観点からも町内で統一化できるとよい。  供給の安定性  災害時にも安定した水道供給を確保するためには、水源の多様化や井戸の活用など体制の整備が必要。現在、水道管の新設が行われているとのことが、資産管理も含めて計画的に検討することが重要。将来的な水質悪化への懸念は、水源の保全や浄水技術の高度化など、長期的な視点での対策を必要。 |
| 〈駅前開発〉  多角的な意見収集  駅前活性化は、地元の賑わいや観光などのイメージアップが期待できる一方、なぜ駅前という疑問もある。まずは、利用率の高い高校生の意見を聞くことや通勤通学以外のJR利用者やJRを利用しない人の呼び込み策など、多角的な視点からの検討することが必要  利便性・快適性の向上  駅前に駐車場や少し休憩するスペースがない。駅前開発には駐車場の整備、バリアフリー化、快適なトイレ、休憩できるスペースなど、駅の利用者が快適に過ごせる環境づくりが求められる。  住民の居場所づくり  「コンセプト」を考え、住民が滞留できる場所にしていくことが重要。また、図書館やe-スポーツが楽しめる場などがあり、住民同士で交流できる場があるとよい。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **課題を解決するために** | | |
| **住民の 役割** | **個人** | 〈上水道〉   * 上水道という共有財産に関心を持つ * 近隣に使える井戸があるか確認する * 山の水を利用する * 水を大切に使う   〈駅前開発〉   * 最寄り駅のアピールをする * 駅のインフラという町の資産を意識する * 駅に行って、実際に使ってみる |
| **地域** | 〈上水道〉   * 劣化によるトラブルが実際に起きてからではなく、未然に配管の交換の準備ができるようにしておく * 水環境の維持の大切さを知る * 現状と少し先の見通しを聞き、話し合う機会を作り、地域で意見をまとめる * 水道も含め使える水源を共有する   〈駅前開発〉   * この自分ごと化会議について地区で情報共有する * 図書館などの気軽に入れるスペースを導入する * 各駅前にその地域の特産品や採れたて旬の野菜が買えたり立ち寄りたくなるスペースがあれば良い |
| **行政の役割** | | 〈上水道〉   * 上水道対応にあたり地域格差を少なくするよう調整する * 十分に予算の確保をしておく * 分かりやすい資料と説明 * 自然豊かな地理なので湧水を利用する（天然水、水汲み場所、採水場） * 補助金の充実することや分担金の統一を図る   〈駅前開発〉   * 外国人にかつらぎ町の良さを知ってもらうきっかけを作る * ロータリー、駐車場、トイレ、休憩所を作る * お金、貸店舗などのつなぎ役を担い、JRとのコラボ企画を実施する * 駅前に文化施設（美術館、博物館的なもの）を検討する |

**〈住民からの主な意見〉**

**老朽管の更新は住民のライフラインを守るためにも絶対必要。**

**水道は生活に当たり前すぎてなくては困る。使えなくなることをあまり意識したことがない。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

**安心な水を安定的に供給してもらうにはある程度の料金も致し方ないと思う。**

アイコン

自動的に生成された説明

**駅前は昔ながらの個人商店で賑わうといいなと思う。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

**駅は高校生の利用が多いので、高校生と一緒に考えてもらうことができれば新しい視点があっていいな。**

1. **農業振興**

|  |
| --- |
| ≪住民が望むありたい姿≫ |
| * 町として農業が大切にされている。地域のスーパーでかつらぎ町産の新鮮でおいしい農作物が手に入る。そんな今の環境がこれからも残ってほしい。 * 山間地・急傾斜地といったこの土地ならではの課題に対して、最新の技術を取り入れて効率的な農作業ができる。 * 遊休農地のマッチングや、求人サイトを使った農業バイトの募集などこれまでのやり方に捉われない新しい手法を取り入れる。 |

|  |
| --- |
| 住民から上がった課題 |
| 耕作放棄地対策  耕作放棄地の増加は、農業の衰退だけでなく、地域の景観や災害対策にも悪影響を与える。耕作放棄地の解消には民間企業との農地マッチングや、新しく農業を始めたい人への土地の貸し出し支援など地域全体での取り組みが必要となってくる。  担い手不足  かつらぎ町においても、農業人口の減少と高齢化は深刻な問題。就農を希望する若者への積極的な支援や、兼業やパートタイムでの農業従事者など多様な関わり方を可能にし、担い手を確保する必要がある。  農業の魅力向上  農業の魅力を発信し、若者をはじめとした地域内外の住民の関心を高める必要がある。収穫体験などのイベント実施、SNSを活用した発信などを今後推進していくことが重要。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **課題を解決するために** | | |
| **住民の 役割** | **個人** | * 農産物を地元のものを買う * 地産地消をする * 副業できるなら休日や時間のあるときに農業のバイトをする * 周辺の畑を無償で利用（耕作）できるよう話し合う * 農業の仕事のメリットデメリットをSNSで発信する * 時間があるときに手入れに行く * 知人で農業したい人がいないか探してみる |
| **地域** | * 就農できる人を歓迎する * いろんな会合に参加する * 地域を回って危ないところを点検する * 周辺の土地所有者と協働で耕作しやすいように行政も協力してもらう * 農業体験を実施する * 放棄地に対しての手入れ等の作業 * 農産物のブランド化 |
| **行政の役割** | | * 農地の貸し出しを工夫する、民間に貸し出す方法を考える * 様々なテクノロジーを駆使し、会社組織と農業を経営できる方向で進める * 業として農業をする人、楽しみとして農業をする人、仲間づくりのために農業をする人など、目的別担い手の色分けを行う * 移住者に向けて農業の仕事の呼びかけを行う * 農地の管理を促すなど作業の補助を行う * 使われていない土地と土地を探している人のマッチングを行う * 補助金などで新規農業者の育成を行う * 農業の会社を誘致する |

**〈住民からの主な意見〉**

**毎日畑を見に行くことや、工夫を重ねて育てた作物が売れていくのを見るのが楽しい。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

**耕作放棄地が一つあると周辺の畑にも悪影響。協力し合って解決が必要。**

アイコン

自動的に生成された説明

**虫が苦手だったり、寒いのが苦手だったり、自分が農業をするのはなかなか難しい。**

**何よりもまずは、若者が住みたいと思ってもらえる街づくりが必要。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

**求人サイトなどで、農業バイトの募集を見かけることもある。時間が空けばやってみたい。**

1. **観光振興**

|  |
| --- |
| ≪住民が望むありたい姿≫ |
| * 今あるかつらぎ町の「よいところ」をもっと知ってもらえる環境・仕組みづくり * 観光需要が増える→宿泊施設や商業施設により町が活性化→移住者増・新たな雇用の創出 * ＝観光振興によって生まれる「好循環」 |

|  |
| --- |
| 住民から上がった課題 |
| 観光資源の活用と開発  世界遺産などの観光資源はあるが、地域住民が普段見ている風景（軒先に並ぶ串柿など）の観光資源の活用が不十分である。地域独自の体験型観光プログラム（農業体験、民泊など）や特産品開発が重要となる。  観光客の誘致と満足度向上  観光客の交流促進（地域住民との交流機会創出）などリピーターを増やすための魅力的なコンテンツが不足している。広域観光との連携による集客力向上の余地があるため、観光客の移動手段（二次交通）の整備が必要となってくる。  地域との連携と情報発信  地域住民の観光への理解と協力が不足しているため、地域住民が主体となった観光振興が推進されていない。地域や観光団体と協力し、観光情報を効果的に発信することが必要。（SNS活用など）  宿泊施設の充実  宿泊拠点としての役割強化が不十分であり、宿泊客のニーズに合わせた宿泊プランが不足している。  宿泊施設の不足と宿泊施設の質的向上（快適性、魅力向上）が必要。 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **課題を解決するために** | | |
| **住民の 役割** | **個人** | * 実際行ってみて観光資源の現状を知る * 自分の地域にあるものを勉強しておき、買い物客にPRする * 町の魅力を伝える（説明できるようになること） * SNSでかつらぎ町の良い場所などを発信する * 自分も公共交通を利用するようにする * 観光地の整備を手伝う * 宿泊施設に泊まってみる |
| **地域** | * 観光資源になるものがないか協議する * かつらぎ町でしかできない体験を考案する * 利用者を増やすため、まちなみの駅を地域が管理を受託する * パークゴルフの近畿大会や全国大会を誘致する * インターネットに詳しい人に発信してもらう（観光できるところ） * 民泊の受け入れをする |
| **行政の役割** | | * 道や駐車場の整備を行う * 宿泊施設を誘致する * 広域観光を推進する * 駅の美化活動などを企画する * PR等の広報活動を充実させる * どこにどんな場所があるのか簡単に調べられたり分かったりできるようにしてほしい |
| **その他** | | * 統合型リゾート施設の早期完成 |

**〈住民からの主な意見〉**

**ホタルが良く見える場所を地元の人は知っている。だけど、そこに行くための道路の整備状況が悪くて勧めづらい。**

**軒先の串柿のような町民にとっては当たり前の景色でも、観光客にとっては「ここにしかないもの」として映るものもある。**

**ホタルが良く見える場所を地元の人は知っている。だけど、そこに行くための道路の整備状況が悪くて勧めづらい。**

**軒先の串柿のような町民にとっては当たり前の景色でも、観光客にとっては「ここにしかないもの」として映るものもある。**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

**観光の一環として1日移住体験や**

**就農体験をしてもらって、本格的な移住のきっかけにしてもらいたい。**

**まずは観光に来てもらって、かつらぎ町のことをよく知ってもらいたい。**

**最初はSNSの口コミからでも、私たちにできることはあるはず！**

アイコン

自動的に生成された説明アイコン

自動的に生成された説明

# Ⅲ　自分ごと化会議に参加して、変化したこと

アンケートを通じて、各委員が自分ごと化会議に参加して意識が変わったことや気付きをまとめました。

1. **自分ごと化会議に参加して変わったこと**

* **行政への関心度が高まった**
* **知りたい情報を積極的に取りに行く**
* **活気のある住民の方との交流は将来性のある前向きな気持ちになった**
* **かつらぎ町のことがいろいろ知れて見方が変わった**
* **何ができるかできることをまず見つけていきたい**
* **かつらぎ町のHPを見るようになった**

1. **会議全体を通じた感想やコメント**

* **関心のない方を巻き込む、知らなくて参加してなかった方を巻き込むきっかけになる**
* **色々な年代からの意見を聞ける、言える機会になるから良いと思う**
* **町に意見を言うことがなかなかなかったから、町の課題とか改善点について町民で話し合えたのはとても良かったと思う**
* **あまり強い想いはなく参加しましたが、すごく真剣に考えることができました**

1. **委員それぞれにとっての「自分ごと化」とは**

* **自分の生活と地域の関わりの意識を高めること**
* **地域で生活する上でのライフラインを把握すること**
* **自分の将来について考えること**
* **今まではすべて受け身だったが、すべてにおいて積極的になること**
* **助け合い**
* **自分の住む町のことについて考えること**
* **地域に協力すること**
* **住みよい、利用しやすく、自慢できる町になるといい**

黒い背景に白い文字がある

低い精度で自動的に生成された説明